

（様式2）

令和7年度 学校評価の4点セット整理票

1学期版

日田市立

大明小

学校

令和7年 5月 20日

【学校の教育目標】

ふるさとに誇りを持ち、人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成
～ 学びあい 支えあい みがきあい ～

【育成を目指す資質・能力】

聞く力・伝える力

重点目標

達成指標

重点的取組

取組指標

知 識 ・ 技 能

思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力

学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等 の 涵 養

担 当

コミュニケーション力の育成

○ 「自分から進んで挨拶ができている」とA評価回答する児童の割合を70％以上
1学期7 0％【達成率100％】
2学期％【達成率％】
3学期％【達成率％】

○ 「生活目標を守って生活している」とA評価回答する児童の割合を70％以上
1学期6 9％【達成率99％】
2学期％【達成率％】
3学期％【達成率％】

学校

○ 基本的な生活習慣の習得（凡事徹底6項目）
・元氣よくあいさつ・返事をします
・時間を守って行動します
・そうじをしっかり取り組みます
・身だしなみをきちんとします
・ていねいな言葉づかいをします
・はきものをきちんとそろえます

○ 教職員は日常的にあいさつの指導を行い、小学部朝会であいさつの良い人を紹介する。

○ 教職員は生活目標を掲示したり、朝の会で意識させたりし、帰りの会で振り返りをさせる。

○

○

○

指導部

主体的・対話的に学びを深める児童の育成

○ 「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができた。」の児童の肯定的評価を8 5％
1学期9 1％【達成率107％】
2学期％【達成率％】
3学期％【達成率％】

○ 「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができた。」の児童の肯定的評価を8 0％以上
1学期9 2％【達成率115％】
2学期％【達成率％】
3学期％【達成率％】

学校

○ 「伝え合う場」を設定した、行事や授業での取り組み

○ 思ったことや考えたこと等を「書く活動」を設定した授業

○ I C Tを活用した授業の推進

○

○

○

研究部

人となりがりふるさとを愛する心の育成

○ 児童アンケート「友だちのいいところを見つけ、伝えることができた」のA評価回答する児童の割合を80％以上
1学期6 7％【達成率8 3 . 7％】
2学期％【達成率％】
3学期％【達成率％】

○ 「地域やふるさとが好き」とA評価回答する児童の割合を90％以上
1学期8 5％【達成率9 4 . 4％】
2学期％【達成率％】
3学期％【達成率％】

学校

○ 集団活動の充実

○ 教職員は望ましい人間関係の視点で肯定的評価を行うとともに、児童同士の振り返りの場を設定し、個々の児童のよさを伝える。

○ 「えがおの花」カード等によって友だちの良さを見つけあう活動を学級や全校で推進する

○

○

○

教務部

効果・効率的な働き方

○ 最終退勤時間を守った教職員の割合8 5％以上
1学期7 5％【達成率88％】
2学期％【達成率％】
3学期％【達成率％】

○ 教職員アンケート「効率的な働き方に努めている」の項目で肯定的な回答割合を9 0％以上
1学期1 0 0％【達成率111％】
2学期％【達成率％】
3学期％【達成率％】

学校等

○ 業務の見直し、改善と教職員のワークライフバランスの推進

○ 効率的な活動の実施

○ 学校支援活動の推進

○

○

○

管理部

（評価 4：100％以上 3：80％以上100％未満 2：60％以上80％未満 1：60％未満 ※％は達成率）

取組指標に対する
取組状況の確認

達成指標に対する
達成状況の確認

達成指標・取組指標の妥当性を

評価

改善方法

学校関係者評価
（月 日）

取組状況（エビデンス）

実施率

達成状況（エビデンス）

達成率

検 証

指標別

全体

考 察

評 価

教職員アンケート項目「日常的にあいさつの指導を行い、朝会であいさつのよい人を紹介している。」でA評価回答する教職員の割合62. 5%

62.50%

児童アンケート項目「自分から進んで挨拶ができている」とA評価回答する児童の割合70％

100%

○児童アンケート項目「自分から進んで挨拶ができている」とA評価回答は70％であったので、達成できている。2学期は、「自分から進んで挨拶プラスワンができている」とA評価回答する児童の割合60％を目標に設定する。

4

○あいさつに加えて、立ち止まって会釈したり、名前を呼んだりといった「プラスワン」ができるように学級や全校集会などで呼びかける。

教職員アンケート項目「生活目標を掲示したり、朝の会で意識させたりし、帰りの会で振り返りをさせている。」でA評価回答する教職員の割合75%

75%

児童アンケート項目「生活目標を守って生活している。」とA評価回答する児童の割合69%

99%

○児童アンケート項目「生活目標を守って生活している。」とA評価回答は69％であったので、おおむね達成できている。2学期はA評価回答する児童の割合80％を目標に設定する。

3

○児童の中での「A評価」の基準が均一になっていない実能がある。本来の達成状況を評価するためにも、各学級で基準を明確にした目標を設定し、振り返りをする。

6月30日～7月4日に「家での過ごし方チェックカード」の取り組みを実施。

1回/学期

保護者アンケート項目「家族で話し合い、生活チェックカードのめあてを決め、目標を達成できるように、保護者が声かけによるサポートを行うことができている。」で肯定的回答する保護者の割合65. 7%

2

○保護者によって取り組み方に差がある。また、期間内だけの取り組みになってしまっている面がある。

6月17日にあいさつプラス1運動を実施。

1回/学期

保護者アンケート項目「学校行事や育友会活動に取り組んでいる。」で肯定的回答する保護者の割合93. 7%

3

○2学期も取組を継続する。

・教職員アンケート項目「授業者はペア・グループ学習において考えを伝え合う時間を1日1回以上授業時に設定している。」でA評価回答する教職員の割合66. 7%

83.30%

児童アンケート項目「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができています。」と肯定的評価する児童の割合91%

107%

○児童アンケート項目「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができています。」と肯定的評価する児童の割合91％で達成できていた。2学期はA評価回答する児童の割合を80％以上に設定する。

4

○振り返りの内容を分かりやすく児童が振り返られるように、項目を設け、各学級が意識して取り組めるような掲示の仕組みを作る。

・教職員アンケート項目「思ったことや考えたこと振り返りなど書く活動を設定した授業を行っている。」でA評価する教職員の割合83. 3%

83.30%

児童アンケート項目「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができている。」と肯定的評価する児童の割合92%

115%

○児童アンケート項目「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができている。」と肯定的評価する児童の割合92％で達成できた。2学期はA評価回答する児童の割合を70％以上に設定する。

4

○これからも継続的に行事等で感想発表を伝える場を意識して作り、内容の充実にも努める。

6月30日～7月4日に「親子読書」の取り組みを実施。

1回/学期

・保護者アンケート項目「学期に一度の親子読書週間で、子どもと親子読書の取り組みができている。」で肯定的回答する保護者の割合71. 9%

2

○一緒に取り組むことで、一人では気づけないことに気づく機会となっている。平日は取り組みが難しく、期間内だけの取り組みになっている。

5月20日に第1回学校運営協議会を実施。

1回/学期

保護者アンケート項目「学校運営協議会が地域と学校、保護者と連携して計画的に推進している。」で肯定的回答する保護者の割合93. 7%

3

○2学期も取組を継続する。

教職員アンケート項目「望ましい人間関係の視点で肯定的評価を行うとともに、児童同士の振り返りの場を設定し、個々の児童のよさを伝える。」でA評価回答する教職員の割合100%

100%

児童アンケート項目「友だちのいいところを見つけ、伝えることができています。」のA評価回答する児童の割合67%

84%

○児童アンケート項目「友だちのいいところを見つけ、伝えることができています。」のA評価回答は67％であったので、達成できていない。引き続き、80％を目標に設定して取り組む。

3

○各学級で「笑顔の花」を書く活動を月1回以上取り組む。

教職員アンケート項目「えがおの花カード等によって友だちの良さを見つけあう活動を学級や全校で推進している。」でA評価回答する教職員の割合57. 1%

57.10%

児童アンケート項目「地域やふるさとが好き」とA評価回答する児童の割合85%

94%

○児童アンケート項目「地域やふるさとが好き」とA評価は85％であったので、達成できていない。引き続き、90％を目標に設定して取り組む。

3

○2学期も「笑顔の花」交換の場を学期に2回以上設定する。

7月4日～10日まで「えがおの花カード」の取り組みを実施。

1回/学期

保護者アンケート項目「学期に1回えがおの花カードに子どものいいところを見つけ記入することができている。」で肯定的回答する保護者の割合96. 9%

3

○家庭で手伝いなどの役割をもたせることが必要。手伝いなどを体験することで、相手のやっていること思いに気づくことができるようになる。

総合的な学習の時間への参画

1回/学期

地域は、授業・体験活動・探究活動等に学校の要請に基づいて協力することができた。

4

○2学期も取組を継続する。

・毎月2回以上校内労働安全衛生委員会を開催
・通知表の見直し、期末整理期間の設定を実施
・6月に計画年休留得留償を設定

100%

・最終退勤時間を守った教職員の割合75%
達成率88%
・教職員アンケート項目「効率的な働き方に努めている」の項目で肯定的回答する教職員の割合を100%
達成率111%

99.50%

○1学期は、短縮5校時を1週間期末整理期間として設定した。期末整理期間を設定しても、学期末の最終週は最終退勤時間を超える教職員が増える傾向がある。

3

○2学期は期末整理期間設定の週を1周後にずらして設定する。

育友会活動を20:30までに終了した回数4/12回

4/12回

育友会活動を20:30までに終了した回数4/12回

1

○開始時間の変更は難しい。

2

○学校外の施設を利用することを検討し実施。

5月20日に第1回学校運営協議会を実施
8月28日に第2回学校運営協議会を実施

1回/学期

5月20日に第1回学校運営協議会を実施
8月28日に第2回学校運営協議会を実施

3

○2学期も取組を継続する。

3

○2学期も取組を継続する。